

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。

※帰国後2週間以内に提出(送信)してください。

※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	ディーキン大学	氏名	
国名	オーストラリア	学籍番号	
留学期間	2025 年 6 月 ~ 2026 年 6 月	記入年月日	2026 年 10 月 5 日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: 社会学			
科目名	The Politics of Asylum in Australia and Asia	科目名	Culture and Control: Boundaries and Identities
授業内容	アジア・オーストラリアにおける難民・難民申請者(Asylum seekers)にまつわる政治の歴史と現在地	授業内容	社会学、とりわけ犯罪学(Criminology)で扱われる、「逸脱(deviancy)」が、様々な社会学者の間でどのように定義され、議論されてきたか(普通/異端の境界線はどこにあるのか)
授業形式	対面、100min.	授業形式	対面、レクチャー50min./セミナー50min.
単位数	1	単位数	1
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	2年生レベル	難易度 Course No.	3年生レベル
宿題の量	ふつう(論文1本、スライドの予習)	宿題の量	重い(論文複数、スライドの予習)
コメント	この講義をDirectしている教授に興味があり専攻したが、教授ではなくPhD(博士課程)の方が教鞭を取っておられました。(少し残念...)でも、オーストラリアにも、日本の入管に似た収容所があることや、難民受け入れを巡る国内の意見の対立を学ぶことができ、非常に重要な講義でした。	コメント	毎回の授業で異なる流派の社会学者に関するテーマ(ベッカー、フーコー、デュルケムなど)を扱うため、情報量が多く付いていくのに必死でした。でも、Essayの問は3本ともとても興味深く、文献読解も楽しかったです。 Social Theory Rewiered: Power, Passion and Post Humanismと同じ、Vinceさんという社会学教授の講義で、この教授はとてもユーモラスでフレンドリーで、好きでした。
科目名	World Religions	科目名	Digital Photography
授業内容	世界の宗教の信仰について(仏教、ヒンデュー教、イスラム教、キリスト教、ユダヤ教)	授業内容	一眼レフカメラ・Adobe Photoshopの操作と、現代写真論(シュールレアリスムなど)
授業形式	対面、レクチャー50min./セミナー50min.	授業形式	対面、300min×6 week(1学期の半分の期間に圧縮)
単位数	1	単位数	1
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	1年生レベル	難易度 Course No.	1年生レベル
宿題の量	軽い(スライドの予習(分かりやすい))	宿題の量	重いけど楽しい(写真100枚以上など)
コメント	本講義を受けていた学生たちだけで、ほぼすべての宗教の信者がいるという、オーストラリアならではの貴重な環境でした。特にイスラムのジハードやユダヤ教は、知れば知るほど自分の解釈が間違っていたことに気づけてとても良かったです。	コメント	津田の写真部に所属しているので、自前のカメラと違うカメラや編集ソフトに触ってみたいと取りました。美術系学科の子と話せたり、留学生同士で友だちになってメルボルンを撮り歩きできたのが嬉しかったです。

科目名	.Love, Sex and Death	科目名	Introduction to Aboriginal Studies
授業内容	哲学。愛、性と死について、課題文献とディスカッションを通して考える	授業内容	オーストラリア先住民の、アボリジニの歴史と現在。「Stolen generation (盗まれた世代)」と呼ばれる、アボリジニの子供達の大量拉致・同化政策と、その現代にも残る爪痕について
授業形式	オンライン、レクチャー50min./セミナー50min.	授業形式	オンライン、レクチャー50min./セミナー50min.
単位数	1	単位数	1
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	1年生レベル	難易度 Course No.	1年生レベル
宿題の量	重い(論文1本(むずい)、スライドの予習)	宿題の量	軽い(論文1本)
コメント	1年生レベルの講義ですが、流石に哲学だけあって、英語論文はとても骨太でした。また、オンラインでのディスカッションは、聞き取れない箇所や、理解できない箇所があってもなかなか横入りできなくて、悔しかったです。	コメント	津田でオーストラリア研究という授業を取っていたので、授業の内容は把握済みだったため予習の理解度が高かったです。ただ、アボリジニの伝統や歴史に関するビデオを見ている時間が長かったため、少し物足りなく感じました。
科目名	Youth Culture and Identity	科目名	Social Theory Rewiered: Power, Passion and Post Humanism
授業内容	オーストラリアの若者(高校生・大学生頃)が直面する社会課題(格差・貧困・人種差別・SNSによる健康イメージの普及など)	授業内容	「社会構造」と「個人の主体性」のどちらが人間の行動をより促すか、という社会学で長く議論されてきた対立について
授業形式	対面、レクチャー50min./セミナー50min.	授業形式	対面、レクチャー50min./セミナー50min.
単位数	1	単位数	1
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	2年生レベル	難易度 Course No.	3年生レベル
宿題の量	ふつう(論文1本、スライドの予習)	宿題の量	重い(論文1本(むずい)、スライドの予習)
コメント	ちょうど学生世代が研究対象になっている分野の社会学なので、自分の日常生活とリンクするテーマが多く、議論にもちょこちょこ参加することができて嬉しかったです。教育学を専攻している学生も履修している印象でした。	コメント	時代も立場も多様な社会学理論を沢山扱うのでとにかくボリュームが多く大変でした。(私だけではなく、オーストラリア人にとってもかなり重い講義だったようです。)でも、教授の説明がとても丁寧で、文献の選出も為になるものばかりだったので、履修してよかったと思っています。最終レポートは自信が無さすぎて、クラスメイトの子に慰めてもらっていました。笑
科目名	Peoples of the World	科目名	
授業内容	人類学。人類学の伝統的な調査方法である参与観察とエスノグラフィーの実践	授業内容	
授業形式	対面、レクチャー50min./セミナー50min.	授業形式	
単位数	1	単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	1年生レベル	難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント	津田で文化人類学を履修しそこねていたので取りました。エスノグラフィーの重要な研究である、アフリカのアザンデ族の「魔法使い」の伝承にまつわる本を読み進めたのが興味深かったです。	コメント	

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	Ossma plus海外旅行保険	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	Bupa	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
	無し。(参考にならず…)	
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	14,530 円
	帰国旅費 (タイ・ベトナム旅行を経由)	100,000 円
	引越(往復)	0 円
	保険 2,245	235,725 円
	語学研修費	0 円
	留学先学費 25,530	2,680,650 円
	本学学費	200,000 円
	教材費	0 円
	住居費 16,000	1,680,000 円
	食費	0 円
	その他()	円
	()	円
	()	円
	合計	4,910,905 円
	換算率 (1AUD = 105 円)	
	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください	
	JASSO奨学金(協定派遣)月々9万日本円	
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	〈無いと生活が難しい〉 ・VISAかMastercardのクレジットカード ・コンセント用の変換プラグ(Amazonで購入) ・ヒートテック ・あたたかいパジャマ ・あたたかい靴下 ・UVカットパーカー ・常備薬、通院先で処方されている薬・コンタクトレンズなど(英語の処方箋をもらっておくと安心) ・帽子(日差しが危険なため) 〈あると便利〉 ・英文法の参考書 ・日本性の文房具(特にボールペン) ・サングラス ・洗濯ネット ・ヘッドが小さい歯ブラシ(オーストラリアの歯ブラシは大きくて使いにくい) ・好きな飲み物(わたしはほうじ茶のティーバッグを買いだめしていました。) ・保温/保冷できる水筒	
	留学前にしておけばよかったこと	
	①ひとすに、英語の勉強です。でも、留学前は自分の英語がどこまで通用するか分からなかったもので、現地に行ってから周りの留学生のレベルの高さに驚いて勉強したのが、私には良いきっかけだったと思います。	
	②現地の日本人コミュニティがあるか調べて、あればコンタクトを取る:住まいや仕事、生活の不便などを、情報共有しているコミュニティがあることがあります。事前に調べて参加しておけば、あれこれ一人で悩まなかったのになと思いました。	
	〈番外編:しておいて良かったこと〉 歯医者、眼科の受診。オーストラリアに限らず、海外では専門医の受診料がとても高く、旅行保険の保障にも含まれていないことが多い。私は親知らずを1本も治療したことが無かったのと、コンタクトレンズユーザーだったので、今後1年で不安なことを相談していました。	

9	適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください 〈学習面〉 英語論文の読み方は徐々にコツを掴みましたが、エッセイの書き方には最後まで慣れなかったです。1科目につき、2,000語のレポートが1つと、1,000語のレポートが2つ出るのが定石だったのですが、自分にできるかが不安で、着手が遅くなることが多くあり、自分と格闘する日々でした。教授、先輩、クラスメイト、津田のライティングセンターなど、頼れる先を自分で見つけてどんどん相談するのが近道だと思います！ 〈生活面〉 食事・お風呂・寒暖差の3つが特に適応しにくかったです。最終的にどれも慣れたのですが、炊きたての柔らかいご飯が食べられないことや、天気の変り変わりがとても激しいこと、節水大国で湯船に浸かれないことが、ときどきとても辛くなりました。冬場はシャワーだけだと体が冷えて痛くなったので、YouTubeでマッサージやストレッチを調べて実践していました。
10	留学の成果(学習面・精神面)を教えてください 〈学習面〉 社会学の理論を体系的に学ぶことができたことが、とても良かったです。津田の多文化では、フィールドワークがメインで、生活者を具に観察することから理論を生み出す手法が使われていますが、オーストラリアでの学びはそれとは逆方向で、最初に理論を学んでから実生活を説明する、という展開でした。私は多文化での学びで、自分の興味が学問領域のどこに位置しているか分からず手探りな感覚があったので、社会学という学問を、広く俯瞰的にみられるようになったことに意義があったと感じました。また、当初の「外国人としての生活経験を積んで、どのような支援のニーズがあるか確かめたい」という目的も、達成できたと思います。 〈精神面〉 昔からメンタルが弱く、一度失敗すると凹んで立ち直れなかったり、逃げ出してしまうことが多い性格でした。でも、留学を通して、「自分でやるしかない！」という窮地に何度も立たされ、「怖い」「どうしよう」という感情を、いかに「これは与えられたチャンスだ」と思えるように持っていけるか、考えるようになりました。結果的に、切り替えの早さや、自分で考えて行動を起こす力に繋がったと思います。 また、初めて家族や友人と遠く離れたので、周りに支えられているありがたみを感じたことも、成長したなと思います。
11	今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください 4年生の3タームからの復帰なので、卒論と日本語教壇実習に力を注いでいます。 就職活動は、留学終わりがけの4月にはじめ、帰国後の7月上旬に最終面接を2社受けて内定をもらい、決めました。
12	留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします メルボルンの留学生支援団体の方の言葉の受け売りですが、「When you're outside of your home countries, you'll be invisible」(国外にいる時、みんな「見えない存在」になります)。オーストラリアは(今のところまだ)政府が主導する多民族国家で、留学生も、英語非母語話者も、珍しい存在ではありません。つまり、留学生だからといって特別に注意を払ってもらえたり、英語ネイティブでは無いからと言って、救いの手をさしのべてもらえたりするわけでは無いということです。わざわざ留学生と仲良くなろうとするオーストラリア人も、そこまでいません。 大切なのは、自分から助けを求めたり、「あなたと仲良くなりたい」と発信する事です。英語力やコミュニケーション能力に自信を無くしてしまうこともあるかも知れませんが、大抵の人は、仲良くしてほしいと言われると、喜んでくれますし、助けてほしいと言われたら、笑顔で手を貸してくれます。自分から行動あるのみです！！ 留学の経験は、辛いこと、予想外のことの連続でしたが、自分を一回りも二回りも大きく強くしてくれました。 留学中の恐怖や孤独や焦りは、絶対に将来の自分へのお土産になると思います。頑張りましょう！
13	その他、ご自由に意見を書き込んでください 〈おすすめの英語教材〉 ・YouTube [@chinatsu_the_emo]...日本人。第2言語学習におけるマインドセットに勇気をもらえます。 ・ニュースサイト[The Conversation]...オーストラリアの非営利団体が運営するニュースサイト。意外と日本情勢の記事を読むのが良い単語の勉強になります。 ・Netflix [Emily in Paris] [My Intern] [The holiday]...日常会話でよく出るフレーズを、シャドーイングしながら覚えられました。 ・Spotify [Ladies, We Need to Talk]...大手報道局のABCニュースが扱うポッドキャスト番組で、オープンマリッジや月経、流産などのテーマを扱います。オーストラリアアクセントに慣れることもできるのでおすすめ。 留学・就活・奨学金のことなど、質問があれば気軽に連絡してください☺

写真を数枚添付していただけると幸いです。(キャプションをつけてください。)



チェコ人の留学生とバーに行った帰り。



1年間ホストをしてくれたおばあちゃん。
最後写真を撮ろうと言うと嬉しそうにしてくれた。



友人たちとAFL(オーストラリアンフットボール)を
みにいった日。ルールは全然分からなかったけど
それも面白かった。



教会で仲良くしてくれた友人たち。
私のステイ先の近くのカフェで、
お別れをいいに来てくれた。



スーパーで買ったマンゴー。
オーストラリアは果物が豊富で、
旬になるととても安くなる。
このマンゴーは300円くらい。



近所の図書館で勉強。
こうしてる時間が
いちばん長かった。



エド・シーランのライブに一人で行った。
日本に比べて単独参戦の人が
ほとんど居なかったのが寂しかったけど、
生で聞けて感動した。



日英言語交換イベントで出会った韓国人の友人。
メルボルン歴が長く、美味しいアジア料理のお店を沢山教えてくれた。
年は離れているけど、なんでも相談できる頼れるオッパ。
(Yo-Chiという、フローズンヨーグルトのお店。美味しくてだいすき)



休みの間に、ひとりでケアンズに旅行した。グレート・バリア・リーフを
見に行くクルーズで、
ソロ旅行者の女の子達とおしゃべりしたのが本当に楽しかった♡



楽しみにしていた真夏のクリスマス。
思ったよりショボかったし、
当日は20年に一度とかの寒波で
海には入れなかったけど、それもまた良かった。

クラスメイトを誘って、古着を見に行った日。
おしゃれで可愛いと思っていた子だったので、
誘うのにとってもとても緊張した。



コーヒーが本当に美味しい！
元々紅茶派だったけど、いまはメルボルンの
Almond milk flat whiteがとても恋しい



留学生のためのウェルカムトリップにて。
ここで仲良くなった子たちとミュージカルを見に行った。